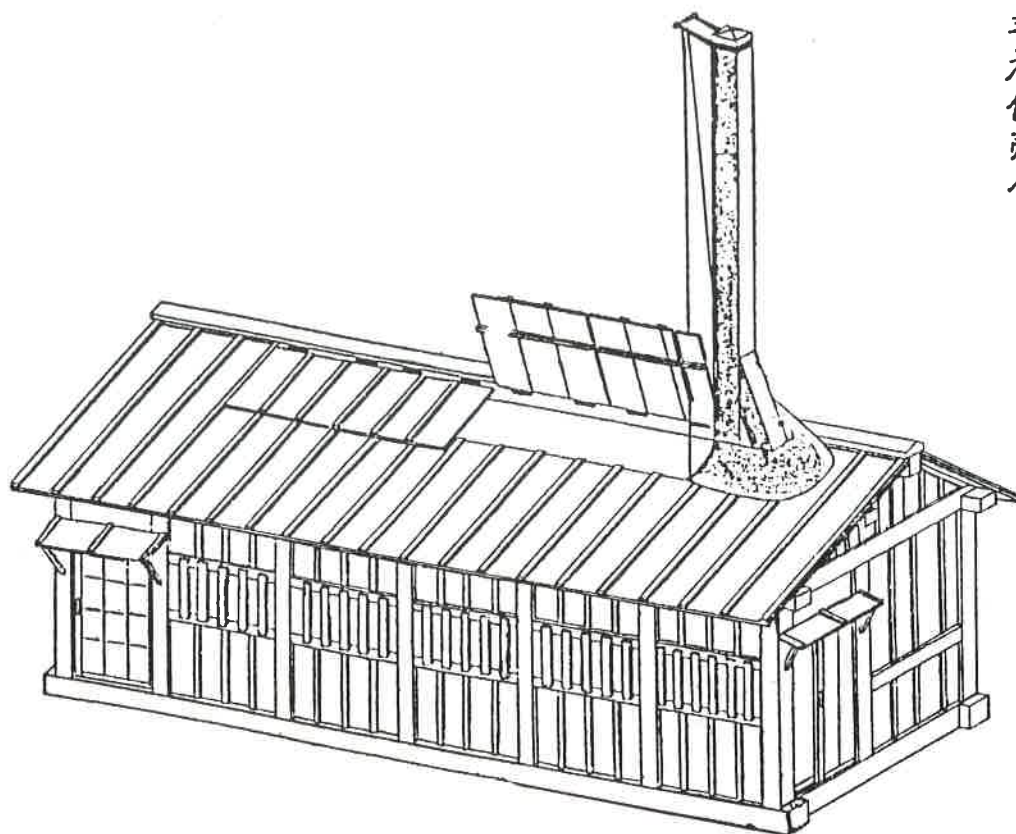


会報

# ひどけい

JSS ..... THE JAPAN SUNDIAL SOCIETY



圭表儀設舎

圭表儀設舎（寛政歴書）天保年間  
Noon time dial . Edo Period , Japan

## 日本日時計の会発足 Inauguration of JSS

### 発足を祝って

顧問 関口 直甫 N.Sekiguchi  
(東京都府中市)



このたび、日本日時計の会が発足したことは、まことに喜ばしいことです。

私は、日時計に関心を持ち始めた頃から、これは造形芸術、造園芸術の観点から見るべきものだ、という考えをもっておりました。そこで、その観点から盛んに活動・制作を続けておられ

る日本国内のベテランの制作者が主体となって、この会の発足を見たことは、これからの日本に優れた日時計が続々と誕生するきっかけとなるでしょう。

私の意見では、日本には古くからこのような観点による日時計は稀であったように思われます。しかし、それだからこそ、斬新なアイデアが誕生する下地があるように思われます。今後のご活動に期待しております。

## 発足に際して

会長 後藤 晶男 A.Gotoh  
(奈良市)



現代社会において何を今さら「日時計」と思われる方々も多いと思う。月差数秒、価格 500 円の時計が売られている昨今、日時計など知らない人も多い。

しかし、人類が農耕生活を始めたとき、真っ先に必要としたことは季節を知ることであった。そのた

めには、太陽の動きを知ることが最も手っ取り早い。太陽による事物の影の動きに気がついたのが、その切掛であろう。日時計が人類最古の科学的機器と云われる所以である。

人間の最初の営みを考え直すためにも、人類と自然との関わり方の原点である日時計の持つ意義を人々に知ってほしいものである。

## 発足おめでとうございます

美並村長 河合 辰男 T.Kawai  
(岐阜県郡上郡)

2000年という、20世紀最後の年に「日本日時計の会」が設立されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

美並村のシンボルともいうべき、日本まん真ん中センターは、「人口重心」と「日本まん真ん中」のランドマークであるシンボルモニュメント（高さ37.3m）を活用した、『世界最大級の日時計』と

なっています。これが縁で、このたびの「日本日時計の会」設立に当たり、事務局をお引き受けする事になりました。微力ながら、ご協力させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

今後、美並村・日本まん真ん中センターへ多くの皆様に親しく気軽に訪れていただきますことを期待し、お祝いの言葉とします。

## 設立総会の報告

幹事 鷺見 洋一 Y.Sumii  
(岐阜県安八郡)

2000年3月25日（土）美並村日本まん真ん中センターにおいて「日本日時計の会」設立総会が開催されました。午後2時より後藤晶男氏による「日時計の歴史と原理」、小野行雄氏による「日時計のデザインと制作」と題する記念公演が行われ、引き続き午後4時30分より設立総会が開かれました。総会出席者ならびに決議事項について、次の通りご報告いたします。

出席者（敬称略） 15名

後藤 晶男、押田 榮一、小野 行雄、鷺見 洋一、山岸 伸一、上野 秀恒、谷川 昭悦、福本 清顕、本郷 康郎、松田 秀雄、光田 敦男、近藤 秀樹、小森多美子、谷口 聡美、河合 辰男、

## 決議事項

1. 会の名称 日本日時計の会
2. 対外名称 The Japan Sundial Society  
(略称 J S S)
3. 顧問 関口直甫
4. 会長 後藤晶男
5. 役員を選出 会長にて幹事4～5名を選出し、幹事会を構成する。
6. 会の運営 会長の主催する幹事会において、今後の会の活動方針を決める。
7. 会報誌の名称 「ひどけい」あるいは「ヒドケイ」とする。ただし、デザインとして「日時計」、[SUNDIAL]を用いてもよい。

会則の細部の検討、今後の活動方針、ロゴマークの決定、国内の日時計の調査登録、等については今後の検討課題となりました。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

## ドイツの日時計 Sundials in Germany

幹事 小野 行雄 Y.Ono

(東京都杉並区)

昨年10月、本会会員の鷺見洋一氏と共にドイツに日時計見学の旅に出かけました。現地ではドイツ日時計協会の方々にご案内をいただき、ミュンヘン、ランドスート、ブレーメン、ビーレフェルトの4都市を回りました。ミュンヘンではマイヤー氏・コッホ女史に、ランドスートでは両氏とクネッシュ氏にご案内いただき、またブレーメンでは昨年春に来日され、日本の日時計について北米日時計協会(NASS)に論文を発表されたクリーグラ氏と氏の奥様に大変お世話になりました。

各都市ともに、日時計が大切にされ、紹介の書籍等も刊行されており、今後本会の充実、海外交流などの在り方について貴重な示唆を受けた有意義な旅でした。



ランドスートにて、左から鷺見氏、私、クネッシュ氏、コッホ女史、マイヤー氏



ブレーメンにて、左から私、鷺見氏、クリーグラ夫人、クリーグラ氏



ランドスート、教会学校の日時計(1734年)



ミュンヘン、レジデントの日時計



ミュンヘン  
ロココ調レリーフ日時計



ブレーメン、  
住宅日時計(1898年)



ビーレフェルト、  
ヒュールスマン博物館  
精密日時計(1780-90年)



ブレーメン  
フォッケ博物館  
多面日時計(1617年)



# 日本の日時計 Japanese Sundials

## (1) 江戸時代の日時計

後藤 晶男 A.Gotoh



和紙で作られた日時計、それぞれの月に該当する右上の短冊を立てて使用する。

ヨーロッパでは、ごく普通に見ることのできる日時計であるが、日本では、まだ少ない。特に、江戸時代につくられた日時計で現存しているものは、数点にすぎない。

しかし、携帯用の小型のものは、古美術店などで入手することも可能である。博物館などには、かなりの数が展示されているのを見ると、当時一般庶民の持ち物として、多数つくられたと思われる。屋外におかれた日時計より、庶民の実用を兼ねたアクセサリーとして、携帯用の日時計がつくられたことは、日本人の国民性であろうか。幕末、来日したシーボルトの「江戸参府紀行」には、日本人が紙製の日時計をもって旅をしていることが書かれている。



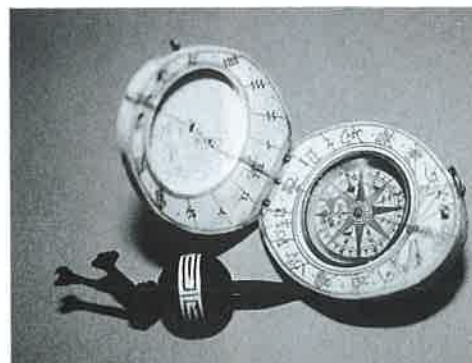
指輪型、真鍮に金メッキをした凝ったもの。



木製、直径50mm位。他の物（根付け）などに対し、腰に吊り下げた。



最も一般的な形、直径20~40mm（真鍮・銅）



象牙製の凝ったもの。50mm×60mm



象牙、同型のものが、2代将軍秀忠の墓から発掘されたとか。15mm×30mm程度

## 日時計講座 A Guide to the Sundial

### (1) 日時計の歴史

後藤 晶男 A.Gotoh

人類が定住生活をし、農作業を始めたとき、最初に必要としたことは、季節を知ることであつたらう。

写真は、ボルネオの原住民が棒の影の変化を測り、季節を調べているようすである。数千年前の我々の先祖の姿を彷彿とさせる。

日時計は、B.C.2000年頃、バビロニアで使われていたと言われる。B.C.1450年につくられたエジプトの携帯用日時計は、現在、ベルリン博物館に保存されているそうである。

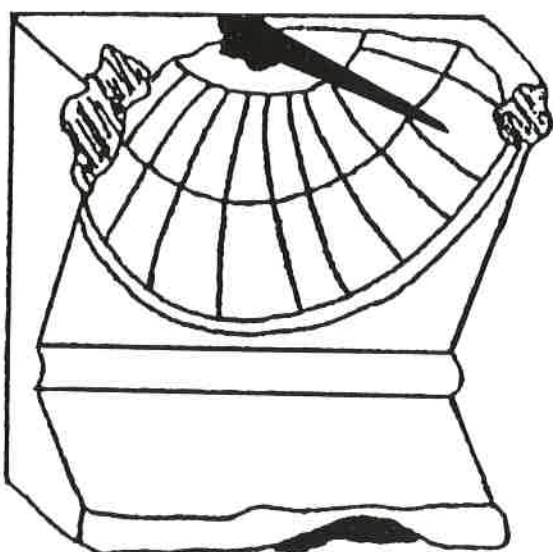
しかし、棒を立てただけの日時計の影の動きは、太陽の高度や、出入の方向が季節によって変化するため不正確である。

太陽の天球上の動きに近い球面、赤道に合わせた面に時刻目盛を刻めば、目盛は等間隔(球面を24等分)でよく、精度も高い。

図は、B.C.1000年頃に使われていた Hemicyclium と呼ばれる半球型の日時計である。ギリシア、ローマの遺跡から発掘され、現存しているものも多い。

日時計は、人類の歴史と共にあったと言っても過言ではない。

次回からは、日時計の原理、制作方法(作図・計算法)各国の日時計についても紹介したいと思う。



半球型日時計(ギリシア、オリンピア)

(Sharon L. Gibbs,

Greek & Roman Sundials, London, 1976年)



夏至の太陽の影の長さを測定するボルネオ部族民  
(ジョセフ・ニーダム、中国の科学と文明、第5巻  
・天の科学、1959年刊)

#### B. C. 2000年頃 バビロニア?

1450 エジプト携帯用日時計(ベルリン博)

1000 ローマ半球型日時計(大英博)

750 カルデア人:日時計を使用

700 アハズの日時計:旧約聖書

600 中国:土圭?

370 ベロツサス(カルデアの神官)

半球型の日時計を作る。

295 ローマに最初の日時計が作られた。

#### A. D. 735 吉備真備:唐より測影鉄尺を持ち帰り献上

760 セント・ピーター寺院(セ'社'ア、スイ)完成。壁面に正午日時計、1894年の再建時まで存在

1432 世宗(李朝):日時計をソウルの2ヶ所に設置

1686 琉球高貞王:首里場内に日時計を作る。断片、琉球大に現存

1718 吉宗:正午の日影を測らせる。

(享保3)

1730 ジャイ・シン2世:ジャイプール、デリーに巨大な日時計を作る。

1792 林子平考案の日時計

(寛政4)

(塩竈神社に現存)

1888 郵便局:正午計により、時計を修正

(明治21)

海外日時計協会情報

北米日時計協会(North American Sundial Society)の会報誌The Compendium 2000年第一号にラインホルト・クリーグラール氏(Reinhold Kriegler、ドイツ、ブレーメン在住)の日本の日時計訪問記が掲載されている。氏は1999年3月に来日、関西を中心に日時計を見て回られたが、その報告である。本文では、時の資料館(奈良)の紙日時計、けいはんなの日時計、東播磨の日時計、シチズンの上原ダイアル、

岐阜の矢橋ダイアル、美並村の日本まん真ん中センターの日時計などが写真と共に紹介されており、美並村の日時計は表紙にもなっている。紙日時計についてはフレッド・ソイヤー氏(Fred Sawyer)による詳しい紹介記事が併せて掲載されている。

なお、北米日時計協会のホームページは、<http://sundials.org/>良く整理されたリンク集を伴っており参考になる。(事務局)

日時計関係書籍の紹介

総合解説書として次の本がある。残念ながら品切れになっている。公共図書館などで参照するとよい。

●日時計百科、関口直甫

1980年、p.175 恒星社

なお、現在改訂版の出版準備が進められている。

現在入手可能な書籍等は5件

●日時計一最古の科学装置、荒川紘

1983年、p.86 海鳴社 電話 03-3262-1967

●世界の日時計一光と影のロマン、後藤晶男

1985年、p.106 豊住書店 電話 0742-22-8500

●南フランス日時計街道、上野秀恒 熊瀬川紀撮影、

2000年、p.150 クロック文化研究所発行、NTTメディアスコープ発売 電話 03-3438-8424

●ワンダーボックス時間の不思議(小中向キット)

メディアファクトリー 電話 0120-169-005

●日時計と日照、上原敬二

1989年、p.183 加島書店 電話 03-3996-2759

欧米では、入門書、総合解説書、啓蒙書、写真集、小冊子などが多く出版されている。英文の総合解説書としては、次の三冊が容易に入手できる。アメリカのインターネット書店が便利。

●Sundials-Their Theory and Construction

A.E.Waugh, Dover, p.228

●Sundials-Their Construction and Use

RN&MW Mayall, Sky, p.250

●Sundials-History Theory and Practice

René RJ Rohr, Dover, p.142

(事務局)

日時計関係博物館案内(国内編)

●近江神宮時計博物館 電話 077-522-3725

〒520-0015 滋賀県大津市神宮町1-1

9:30 ~ 16:30、無休

京阪電鉄近江神宮前より徒歩10分

日時計、香時計、櫓時計、尺時計、垂揺球儀、その他和時計、現代時計

●セイコー時計博物館 電話 03-3610-6248

〒131-0032 東京都墨田区東向島3-9-7

10:00 ~ 16:00 日・月・祝祭日休館

前日に電話予約が必要

東武伊勢崎線東向島駅より徒歩約8分

和時計(一部日時計)、現代時計、文献資料

●大名時計博物館 電話 03-3821-6913

〒110-0001 東京都台東区谷中2-1-27

10:00 ~ 16:00 月曜休館(祝日の場合は翌日)

地下鉄千代田線根津駅より徒歩8分

和時計、香盤時計、日時計、印籠時計

●国立科学博物館 電話 03-3822-0111

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

9:00 ~ 16:30

月曜(日月が祝日の場合は火)・年末年始休館

JR上野公園駅から徒歩5分

和時計、日時計

●時の資料館 電話 0742-26-5187

〒630-8334 奈良県奈良市西新屋町28

10:00 ~ 16:00 月・木・年末年始休館

近鉄奈良駅、JR奈良駅より徒歩15分

日時計、水時計、砂時計、香時計、機械時計  
暦、天体観測機器、その他文献等

●日本まん真ん中センター 電話 0575-79-3700

〒501-4106 岐阜県郡上郡美並村白山430-4

9:00 ~ 17:00 月曜・祝日の翌日・年末年始休館

東海北陸自動車道一美並ICよりすぐ

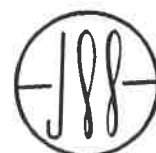
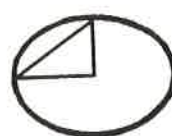
携帯日時計、日時計パネル写真、野外日時計

(事務局)

## ロゴマークの募集

設立総会に先立ち、会員の皆さんにロゴマークを募集したところ、右のとおり5点の応募がありました。すでにご連絡致しましたが、設立総会で決定するには至りませんでした。今後の課題となりましたので、ふるってご応募ください。(事務局)

下記は、海外日時計協会のロゴマーク参考例  
イギリス 北アメリカ イタリア オランダ



## 個人会員名簿

| 会員番号   | 氏名    | 都道府県 | 会員番号   | 氏名    | 都道府県 |
|--------|-------|------|--------|-------|------|
| 1-0001 | 志村肇   | 静岡県  | 1-0035 | 大村一彦  | 東京都  |
| 1-0002 | 斉藤千代子 | 大阪府  | 1-0037 | 角野韶炳  | 大阪府  |
| 1-0003 | 佐藤武宏  | 神奈川県 | 1-0038 | 徳田紫穂  | 岐阜県  |
| 1-0004 | 原真知子  | 岐阜県  | 1-0039 | 小林由来  | 岐阜県  |
| 1-0005 | 福本清顕  | 兵庫県  | 1-0040 | 弘田澄人  | 静岡県  |
| 1-0006 | 栄利秋   | 奈良県  | 1-0041 | 白瀧英雄  | 兵庫県  |
| 1-0007 | 若宮崇令進 | 神奈川県 | 1-0042 | 谷川昭悦  | 兵庫県  |
| 1-0008 | 山本進   | 滋賀県  | 1-0043 | 亀山義隆  | 岐阜県  |
| 1-0009 | 小林佐武郎 | 新潟県  | 1-0044 | 高橋芳男  | 岐阜県  |
| 1-0010 | 高田紀代志 | 宮城県  | 1-0045 | 池田勇次  | 岐阜県  |
| 1-0011 | 沖允人   | 栃木県  | 1-0046 | 小森多美子 | 岐阜県  |
| 1-0012 | 小原輝子  | 神奈川県 | 1-0047 | 谷口聡美  | 岐阜県  |
| 1-0013 | 稲葉亘快  | 東京都  | 1-0048 | 亀山設夫  | 岐阜県  |
| 1-0014 | 光田淳雄  | 岡山県  | 1-0049 | 粥川茂雄  | 岐阜県  |
| 1-0015 | 木下宙   | 埼玉県  | 1-0050 | 佐久間義敬 | 東京都  |
| 1-0016 | 松田秀雄  | 大阪府  | 1-0051 | 斉藤正司  | 北海道  |
| 1-0017 | 上野秀恒  | 東京都  |        |       |      |
| 1-0018 | 徳武政彦  | 長野県  |        |       |      |
| 1-0019 | 池田豊興  | 北海道  |        |       |      |
| 1-0020 | 榊原恒雄  | 三重県  |        |       |      |
| 1-0021 | 野呂忠夫  | 東京都  |        |       |      |
| 1-0022 | 藪保男   | 滋賀県  |        |       |      |
| 1-0023 | 山本誠   | 東京都  |        |       |      |
| 1-0024 | 鷺見洋一  | 岐阜県  |        |       |      |
| 1-0025 | 加藤寿芽  | 愛知県  |        |       |      |
| 1-0026 | 押田榮一  | 兵庫県  |        |       |      |
| 1-0027 | 関口直甫  | 東京都  |        |       |      |
| 1-0028 | 後藤晶男  | 奈良県  |        |       |      |
| 1-0029 | 宮島一彦  | 大阪府  |        |       |      |
| 1-0030 | 大西道一  | 兵庫県  |        |       |      |
| 1-0031 | 森本雅樹  | 東京都  |        |       |      |
| 1-0032 | 黒田武彦  | 兵庫県  |        |       |      |
| 1-0033 | 上原秀夫  | 東京都  |        |       |      |
| 1-0034 | 小野行雄  | 東京都  |        |       |      |

## 法人会員名簿

| 会員番号   | 氏名            | 都道府県 |
|--------|---------------|------|
| 2-0001 | 株式会社ウォーターデザイン | 東京都  |
| 2-0002 | 株式会社ニホンディスプレイ | 愛知県  |
| 2-0003 | 東はりま日時計の丘公園   | 兵庫県  |
| 2-0004 | 財団法人 岐阜天文台    | 岐阜県  |
| 2-0005 | 近江神宮 時計博物館    | 滋賀県  |
| 2-0006 | 明石市立天文科学館     | 兵庫県  |

※本会に係る場合以外の使用を禁止します。  
個人のプライバシーのこともあり、氏名と都道府県名のみで紹介とさせていただきます。  
(2000年5月11日現在、敬称略)



## 日本日時計の会会則(案)

1. 名称  
本会の名称は「日本日時計の会」とする。  
対外名称は「The Japan Sundial Society」とする。
2. 目的  
本会は広く日時計の知識の普及と啓蒙をはかり、日時計に関心を有する会員相互の情報交換ならびに親睦を目的として、次の活動を行う。
  - ①日時計の学術研究の奨励
  - ②既存の日時計の記録・調査
  - ③日時計の設置・維持・修復の助言
  - ④外国の日時計団体との交流
3. 事業  
本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。
  - ①年1回の総会の開催
  - ②見学会、研究会の開催
  - ③会報誌の発行
  - ④その他必要と認められる事業
4. 会員  
会員は日時計に関心を持つ個人又は法人とする。  
会員は所定の会費を納入する。
5. 役員  
本会に次の役員を置く  
顧問 1名            副会長 2名  
会長 1名            幹事 若干名  
会計監査 1名
6. 会の運営  
会長は本会ならびに幹事会を代表して本会を運営する。  
幹事会は会長・副会長・幹事より成る。
7. 役員任期  
役員任期は2年とする。ただし再任は妨げない。
8. 会計  
本会の経費は、会費及び寄付金を以ってこれに当てる。  
会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。  
会長は会計監査を受け、会計報告を行う。
9. 総会の成立  
総会の成立には、委任状も含め会員の2分の1以上の出席を必要とする。  
総会の議決は、総会出席者の過半数を以って決することとする。  
(付則)
  1. 会費は、個人会員年 3,000 円、法人会員年 10,000 円とする。
  2. 会報誌の名称は、「ひどけい」又は「ヒドケイ」とする。
  3. 本会の事務局は、岐阜県美並村日本まん真ん中センター内に置く。

(事務局より:設立総会の決議事項以外は未定です。  
ご意見をお寄せください。)

## 編集後記 Editor's Notes

### ●事務局より

みなさま如何お過ごしでしょうか。会費を納入くださる様よろしくお願ひします。設立総会以降、5月中旬までに納入くださった方のご芳名を記し領収に替えさせていただきます。行き違い等ございましたら、ご了解いただきます様お願ひします。

池田勇次 加藤寿芽 押田榮一 山岸伸一  
小野行雄 後藤晶男 高橋芳男 徳田紫穂  
上原秀夫 森本雅樹 大村一彦 大西道一  
角野韶炳 鷺見洋一(敬称略)

### ●お知らせ

例年の通り、時の記念日に当たる6月10日(火)午前11時より、大津の近江神宮にて漏刻祭が行われます。時計に関するイベントなども企画されています。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

住所 〒520-0015 滋賀県大津市神宮町1-1  
電話 077-522-3725 FAX 077-522-3860

### ●投稿のお願い

第2号を11月末頃に発行する予定です。身近にある日時計のレポート、日時計製作のご経験、旅行記、研究、随筆などなど事務局宛てにどしどし原稿をお送りください。

### ●入会について

入会ご希望の方は事務局にご連絡ください。  
年会費は個人会員3,000円、法人会員10,000円です。  
〒501-4106岐阜県郡上郡美並村白山430-4  
電話0575-79-3700 Fax0575-79-3555  
日本まん真ん中センター内日本日時計の会事務局

総会以降の急ぎの編集となりました。十分な内容ではありませんが、会報誌充実のきっかけとなることを切に願っています。会員の皆様のご協力をよろしくお願ひします。(事務局)

発行 日本日時計の会  
〒501-4106 郡上郡美並村白山430-4  
日本まん真ん中センター内  
TEL 0575-79-3700 FAX 0575-79-3555  
印刷 (資)松岡印刷所